

茶釜の湯 内覧会に 643 人

7月9日に完成式典を開いた介護老人保健施設「すばる」通所リハビリ施設「茶釜の湯」の一般内覧会が7月11、12日に行われました。内覧会には、結城市や周辺の方々をはじめ、福祉関係者など643人が駆け付け、施設内を興味深く回り、職員に次々と質問をしていました。

この施設は、地下1500㍍から天然温泉「茶釜の湯」を掘り、100人定員の温泉療法による通所リハビリ施設として建設。建物は茨城県産の八溝スギをふんだんに使った木造りの施設です。リハビリ施設のために天然温泉を掘削し、木をふんだんに使った広大な施設は非常に珍しく、内覧会に訪れた人たちは、施設の大きさに驚いていました。

温泉療養施設では、多くの方が長さ10㍍、幅5㍍、深さ90㍍の温泉療養プールに手を入れて、温泉の感触を確かめていました。娯楽室でカラオケを楽しんだり、リハビリ室でリハビリ機器を試す人もいる中、「この施設はどうすれば使えるの?」「介護保険はどう申請すればいいの?」「施設を使うのに費用はどれだけかかるの?」といった質問も数多くあり、居宅介護支援事業所「茶釜の湯」のケアマネージャーたちがていねいに答えていました。

茶釜の湯の見学は随時受け付けています。お問い合わせは「茶釜の湯」TEL 0296-21-2001まで。

平成28年7月13日



温泉の感触を直に確かめる姿も



新しい施設を一目見ようと訪れた人々

珍しい温泉療法施設に興味津々



静養室で一息入れる人たち



娯楽室ではカラオケを楽しむ姿も



リハビリ室でちょっとトレーニング